

島根県橋梁長寿命化修繕計画

(令和8年度)

令和8年5月

島根県土木部道路維持課

目 次

1. はじめに

- (1) 本計画の位置付け P1
- (2) 対象施設 P2
- (3) 計画期間 P2

2. 施設の現状

- (1) 県内の橋梁数 P2
- (2) 道路橋の年齢構成 P3

3. メンテナンスサイクルの基本的な考え方

- (1) 定期点検 P4
- (2) 診断 P4
- (3) 措置 P6
- (4) 記録 P6

4. 老朽化対策の実施

- (1) 対策の優先度評価 P7
- (2) 管理目標 P8
- (3) 道路橋修繕方針 P9
- (4) 主な対策内容 P10
- (5) 対策費用 P11

5. 今後の取り組み

- (1) 維持管理の更なる高度化、効率化 P12
- (2) 橋梁等の集約化撤去 P13

6. 計画策定窓口等

- (1) 学識経験者等の専門知識を有する者 P13
- (2) 計画策定窓口 P13

別添

- 橋梁点検・修繕計画一覧表 P14～

1. はじめに

(1) 本計画の位置付け

公共施設の長寿命化を図るため、国において平成25年11月29日に「インフラ長寿命化基本計画」(以下、「基本計画」という。)が策定されました。

本県では、この基本計画に基づき平成27年9月に「公共施設等総合管理基本方針」、令和7年3月に「第2期島根県公共施設等総合管理基本方針」(以下「基本方針」という。)を策定しました。

さらに、本県土木部においては、公共土木施設(道路、河川など7分野17施設)の適切な維持管理を効率的かつ計画的に実施するための「島根県公共土木施設長寿命化計画【第2期】」(以下、「長寿命化計画」という。)を策定したところです。

本計画は、長寿命化計画に基づき、道路橋および横断歩道橋における定期点検及び修繕の具体的な対応方針を定めたものであり、行動計画に基づく個別施設計画として位置付けます。

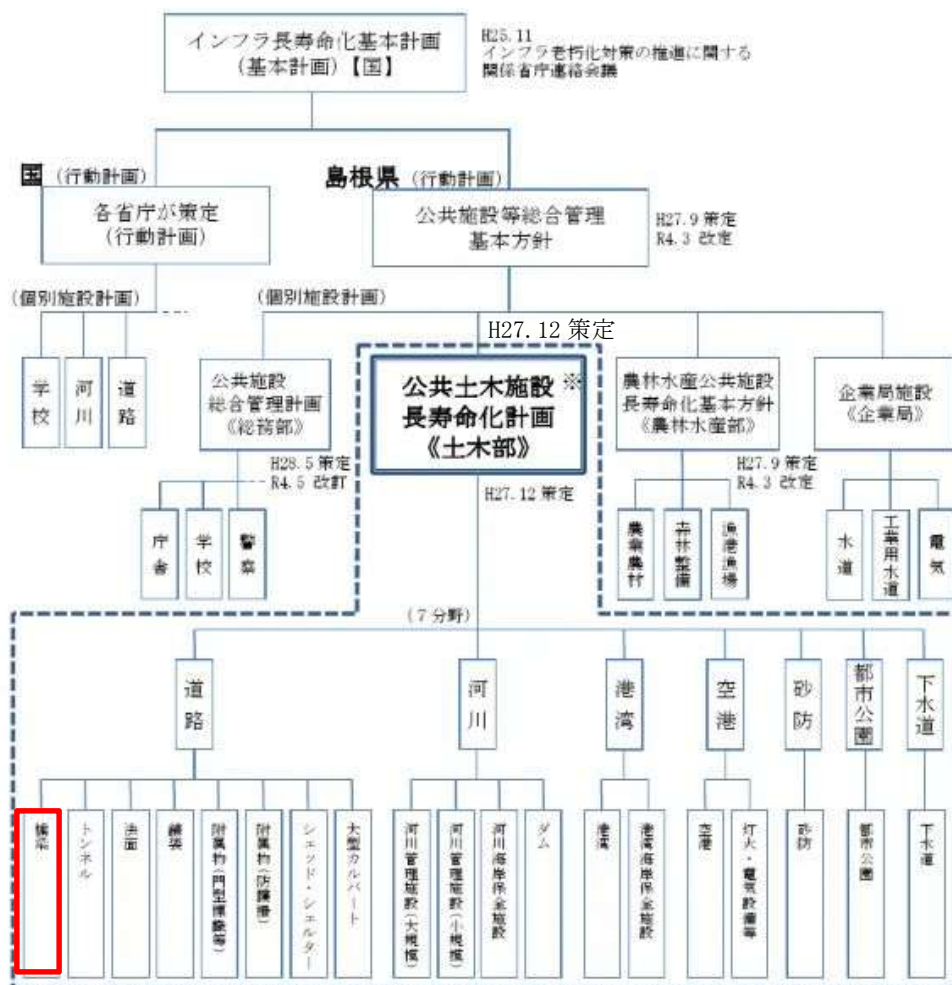


図1 インフラ長寿命化計画体系図

(2) 対象施設

本計画の対象とする施設は、島根県が管理する道路法第2条第1項に規定する道路における橋長2.0m以上の橋（以下「道路橋」という）とします。

(3) 計画期間

本計画の期間は令和8年度から令和12年度までの5年間とします。ただし、道路橋の状態は経年劣化や疲労等によって時々刻々と変化することから、定期点検結果等を踏まえ、適宜、計画を更新するものとします。

2. 施設の現状

(1) 県内の橋梁数

島根県では、令和8年5月29日現在、2,780橋の道路橋を管理しています。

表2-1 各県土整備事務所管内の道路橋数 (R8.5.29現在)

事務所	事業所	橋梁数	橋梁数	
			国道	県道
松江	松江	290	99	191
	広瀬	179	33	146
雲南	雲南	259	43	216
	仁多	169	72	97
出雲	出雲	445	103	342
県央	県央	303	69	234
	大田	149	6	143
浜田	浜田	420	56	364
益田	益田	259	93	166
	津和野	193	39	154
隠岐	島後	78	22	56
	島前	36	4	32
計		2,780	639	2,141

表 2-2 島根県が管理する道路橋の路線別及び橋長別橋梁数

		補助国道	主要地方道	一般県道	合計
全管理道路橋数		639	1,004	1,137	2,780
うち計画の 対象数	15m未満	328	499	751	1,578
	15m以上	311	505	386	1,202

(2) 道路橋の年齢構成

島根県が管理する道路橋 2,780 橋のうち、建設後 50 年を超過する道路橋の占める割合は 37.3% ですが、20 年後には 72.5% となり、急速に道路橋の高齢化が進行します。

図 2-1 島根県が管理する道路橋の経過年数ごとの橋梁数

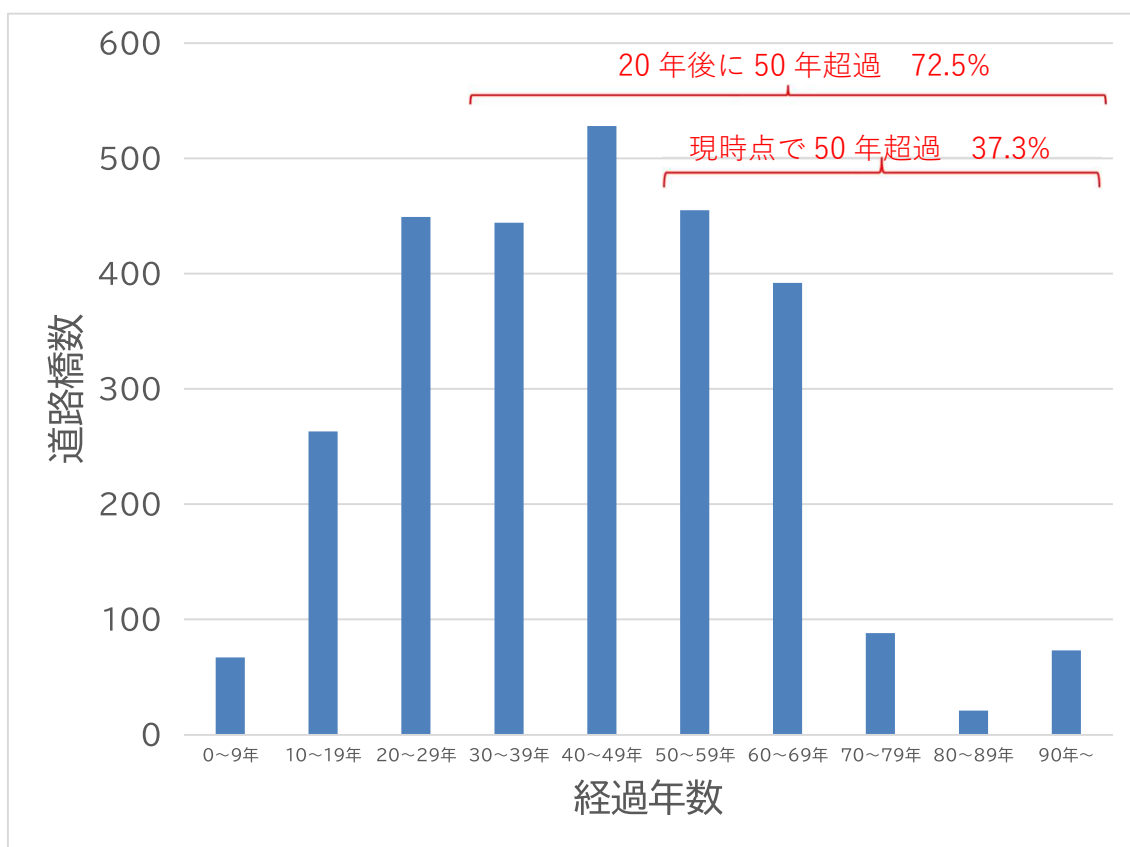


図 2-1 島根県が管理する道路橋の経過年数ごとの橋梁数

3. メンテナンスサイクルの基本的な考え方

道路橋の老朽化対策を確実に進めるため、点検→診断→措置→記録→（次回点検）のメンテナンスサイクルを構築します。

（1）定期点検

1）点検の頻度

定期点検は5年に1回の頻度で実施することを基本とします。

2）点検の方法

定期点検は、近接目視により行うことを基本とし、全ての部材に近接して部材の状態を評価します。

定期点検では、健全性の診断の根拠となる道路橋の現在の状態を、近接目視により把握するか、近接目視と同等の健全性の診断を行うことができるかと判断した方法により把握します。

近接目視とは肉眼により部材の変状等の状態を把握し、評価が行える距離まで接近して目視を行うことと定義します。

近接目視と同等の健全性の診断を行うことができると判断した方法とは、ドローンやロボット等による近接撮影画像などの点検支援技術のことと定義します。

また、必要に応じて触診や打音検査を含む非破壊検査などを行います。

点検時にうき・はく離等があった場合は、道路利用者及び第三者被害が予測される橋梁においては、事故防止の観点から応急的に措置を実施した上で判定を行います。

（2）診断

定期点検では、部材単位及び道路橋毎の「健全性の診断」を行います。

健全性の診断は「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」の4段階の区分で行います。

健全性の診断にあたっては、判定会を実施し、診断結果にバラツキが生じないようにします。

健全性の判定においては、専門家（(財)橋梁調査会、島根県コンクリート診断士会）からアドバイスを受け、健全性の診断の精度を高めます。

1) 部材単位の健全性の診断

部材単位の健全性の診断は、表3-1の判定区分により行うことを基本とします。

表3-1 部材単位の健全性判定区分

健全性の区分		状態
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

2) 道路橋毎の健全性の診断

道路橋毎の健全性の診断は、表3-2の判定区分により行います。

道路橋単位の診断は、部材単位の健全性の診断結果を踏まえて、橋梁の主要な構造に着目し、道路橋毎で総合的に判断します。

表3-2 道路橋の健全性判定区分

健全性の区分		状態
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

(3) 措置

診断結果に基づき、道路橋の効率的な維持及び修繕が図られるよう、必要な措置を講じます。

(4) 記録

定期点検及び健全性の診断の結果、並びに措置の内容等を記録し、当該道路橋が利用されている期間中はこれを保存します。

4. 老朽化対策の実施

(1) 対策の優先度評価

島根県が管理する道路橋には、大規模な橋梁から小規模な橋梁、幹線道路に架かる橋梁から生活道路に架かる橋梁まで多種多様な橋梁があります。

限られた予算でこれらを一斉に修繕していくことは困難であり、どの道路橋の修繕を優先的に行うか評価をする必要があります。

対策の優先度評価は、橋梁・路線の重要度と劣化リスクに基づいた道路橋の区分（表4-1）および健全性により行います。

点検・補修により健全性を変更した場合には、優先順位の見直しを行います。

表4-1 道路橋の区分

対策優先度		劣化リスク（建設年次・橋長・橋種）				
		S60年以前に建設		S60年より後に建設		溝橋 (BOX)
		橋長 30m以上	橋長 30m未満	橋長 30m以上	橋長 30m未満	
橋梁・ 路線の 重要度	・第三者被害の恐れあり (跨道橋、跨線橋、渡海橋等)	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5
	・迂回路の無い路線	(7)	(44)	(44)	(17)	(20)
	・孤立集落発生の恐れのある路線					
	・第1次緊急輸送道路	グループ6	グループ7	グループ8	グループ9	グループ10
		(74)	(165)	(77)	(97)	(105)
	・第2次緊急輸送道路	グループ11	グループ12	グループ13	グループ14	グループ15
・第3次緊急輸送道路	(43)	(180)	(101)	(148)	(88)	
・その他(上記以外)	グループ16	グループ17	グループ18	グループ19	グループ20	
	(53)	(757)	(123)	(335)	(109)	

※特殊橋梁（吊橋、斜張橋、橋長100m以上の長大橋等）159橋は上記に含めず、別途管理する

※（ ）内の数字は対象橋梁数

対策の優先度の考え方は原則以下のとおりとします。

- ①定期点検の結果、健全性が低い順。
- ②健全性が同じ場合は、表4-1のグループ順。

(2) 管理目標

管理目標は道路橋の区分毎に設定し、それに基づいて処置・対策(経過観察、予防保全対策、事後保全対策、大規模補強対策)を講じるものとします。(表4-2)

表4-2 管理目標

道路橋の状態	措置内容	道路橋の区分	
		グループ 1・2・3・4	グループ 5
道路橋の機能に支障が生じていない状態 (健全性Ⅰ)	経過観察		
道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態 (健全性Ⅱ)	予防保全対策	原則Ⅲの解消後に実施	
構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態 (健全性Ⅲ)	事後保全対策	点検後5年以内に実施	
構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態 (健全性Ⅳ)	大規模補強対策	点検・診断後、緊急対応	

当面は健全性Ⅲの解消を優先的に実施し、その後は、健全性Ⅱの予防保全段階での管理を目指します。

健全性Ⅳの場合には、発見後ただちに通行止め等の緊急対応を行い、その後、修繕・架替え等の措置を講じます。

(3) 道路橋修繕方針

- 1) 点検、診断結果に基づく判定区分に応じて対策を講じます。
- 2) 緊急対応の必要がある道路橋（健全性Ⅳ）は、直ちに通行規制並びに応急対策を行ったうえで、本対策を行います。
- 3) 早期に措置を講じる必要のある道路橋（健全性Ⅲ）は、点検後5年以内に本対策を行います。
- 4) 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい道路橋（健全性Ⅱ）については、他工事との調整等により既定時期での実施が必要な場合を除き、原則Ⅲの解消後に実施します。
- 5) 対策方法は変状の状況を十分に把握し、その範囲・規模については、対策を満足する範囲で経済性を考慮し決定します。

表4-3 本対策の代表例

部材	損傷例	本対策の代表例
鋼部材	腐食	再塗装工
	破断	当て板補強工
コンクリート部材	鉄筋露出	断面修復工
	ひび割れ	表面被覆工 ひび割れ補修工（注入工、充填工）
支承	機能障害	支承取替工
	機能障害、腐食	支承塗替工
橋面	床版ひび割れ	ひび割れ注入工 橋面防水工
	路面の凹凸	舗装打換工
伸縮装置	漏水、破損	伸縮装置取替工
その他	洗掘	河床根固工

(4) 主な対策内容

1) 当て板補強工

激しい腐食による鋼部材の減厚が生じた箇所に対し、腐食箇所を取り囲むように当て板(添接版)を施すことにより鋼部材を補修する工法です。



写真4-1 当て板工実施状況

2) ひび割れ補修工

ひび割れ部分にエポキシ樹脂材、ポリマーセメントなどの補修材料を深部まで注入し、ひび割れ部を塞ぐ工法です。

ひび割れを塞ぐことにより、劣化因子(水分、塩化物など)の侵入を防止しコンクリートの耐久性を向上することができます。



写真4-2 ひび割れ注入状況

3) 断面修復工

欠損した断面を下地処理後、コテ、ヘラなどによって断面修復材を塗り込んで断面を修復する工法です。

断面修復材料は、ポリマーセメントモルタルなどが用いられます。

大規模な断面欠損箇所に対しては、吹付工法を採用することもあります。



写真4-3 断面修復状況

(5) 対策費用

個々の道路橋の健全性や区分を考慮した効率的な措置を行います。

前述の「(3) 道路橋修繕方針」に基づいた措置を行い、各年度の対策費用を決定します。

5. 今後の取り組み

(1) 維持管理の更なる高度化、効率化

コスト削減や維持管理の効率化を図るため、国土交通省「新技術情報提供システム (NETIS)」及び「点検支援技術性能カタログ」を活用する等、維持管理に関する最新のメンテナンス技術の積極的な活用を図ります。特に定期点検・補修設計については、国土交通省の「新技術利用のガイドライン (案)」を参考にしながら新技術等の活用を検討します。

- ・ドローンや AI 技術等を活用した施設点検の効率化
- ・点検情報をデータベース化して損傷の進行性を把握し、長期的な維持管理の高度化
- ・修繕 (設計・工事) にあたり、新技術・新材料・新工法等で工程を短縮させ、品質及び施工性の向上

1-1) 橋梁の点検支援技術 1

直近の点検において従来技術 (ロープアクセス) により点検を実施した 30 橋について、新技術である「ドローン技術」等を活用します。従来技術 (ロープアクセス) を活用した場合と比較して、点検人員等の削減及び安全性を向上させ、点検費用について 5 年間で約 300 万円のコスト削減を図ります。

1-2) 橋梁の点検支援技術 2

外部委託点検を行う橋梁のうち 30 橋について、新技術である「点検を効率化できる技術 (点検ロボット)」を活用して点検を実施します。単径間のコンクリート橋で橋梁点検車を用いて実施した場合と比較して、データ処理の効率化及び安全性を向上させ、点検費用について 5 年間で約 400 万円のコスト削減を図ります。

2-1) 橋梁の修繕工法

管理する橋梁のうち 1 橋で新技術を活用した修繕を進め、従来技術を活用した修繕と比較して、塗膜剥離作業の効率化及び安全性を向上させ、5 年間で約 100 万円程度のコスト削減を目指します。

2-2) 横断歩道橋の修繕工法

管理する横断歩道橋のうち 1 橋で新技術を活用した修繕を進め、従来技術を活用した修繕と比較して、塗膜剥離作業の効率化及び安全性を向上させ、5 年間で約 100 万円程度のコスト削減を目指します。

(2) 橋梁等の集約化・撤去

1-1) 橋梁の検討方針

直近の点検結果および施設の利用状況や周辺道路の整備状況等を考慮の上、集約撤去箇所の検討をしていますが、いずれの施設も利用者があるため地元等との調整が難しく、現状集約・単純撤去は困難を極める状況です。

令和11年までに1橋の「撤去+迂回路整備」を検討し、定期点検に要する約30万円のコスト縮減を図ります。また、今後30年間で約600万円の維持管理コスト縮減を目指します。

1-2) 横断歩道橋の検討方針

老朽化等により現状のままでは継続利用が困難な横断歩道橋（健全度Ⅲ、Ⅳ）において、今後も同等以上の機能が必要な場合には「修繕」または「更新」を検討します。

管理する施設は小中学校の主要な通学路として使用されており、隣接する迂回路を通行した場合、交通安全上の課題があることから、集約化・撤去を行うことが困難である。統廃合により近隣の学校が廃校となる場合や、周辺環境の変化等により、歩行者がおらず機能が発揮されていない横断歩道橋については、地元住民や利用者との協議を行い「廃止」を検討します。

6. 計画策定窓口等

(1) 学識経験者等の専門知識を有する者

島根県道路施設長寿命化修繕計画策定検討会委員 8名

(2) 計画策定窓口

〒690-8501 島根県松江市殿町8番地

島根県 土木部 道路維持課 TEL(0852)22-5194

Table with columns: 道路橋名, 路線名, 架設年次(西暦4桁), 橋長(m), 幅員(m), 事務所, 市区町村名, 緊急輸送道路・1次・2次・3次・無, H26-H30 1 巡回点検結果, R1-R5 2 巡回点検結果, R6-R10 3 巡回点検計画点検結果, 概算修繕費用(計画期間内)(千円).

道路橋名	路線名	架設年次 (西暦4桁)	橋長 (m)	幅員 (m)	事務所	市区町村名	緊急輸送道路 ・1次 ・2次 ・3次 ・無	H26-H30 1 巡回 点検結果			R1-R5 2 巡回 点検結果			R6-R10 3 巡回 点検計画 点検結果			概算修繕費用 (計画期間内) (千円)						
								点検 年度	健全 性	対策 内容	着手 年度	完了 年度	点検 年度	健全 性	対策 内容	着手 年度		完了 年度	点検 年度	健全 性	対策 内容	着手 年度	完了 年度
清流橋	(主) 掛上阿井線	1973	39	7.25	03雲南	雲南市	2次	H30	III	支承交換	R2	R3	R5	III	支承交換	R5	R5	R10	—	—			
松峽橋	(主) 掛上阿井線	1974	46.45	7.45	03雲南	雲南市	1次	H27	III	ひび割れ補修	R3	R3予定	R1	III	ひび割れ補修、伸縮継ぎ目取替	R3	R8予定	R6	III	ひび割れ補修	R3	R8予定	
穴見谷橋	(主) 掛上阿井線	1973	24.06	7.33	03雲南	雲南市	1次	H30	III	ひび割れ補修	R2	R2	R4	II	—	—	R9	—	—				
境橋	(主) 掛上阿井線	1982	56	9.2	03雲南	雲南市	1次	H30	III	ひび割れ補修、P.C部材取替	R4	R2	R5	III	ひび割れ補修、P.C部材取替	R5	R8予定	R10	—	—		15,000	
吉田新橋	(主) 掛上阿井線	1981	36.76	9.2	03雲南	雲南市	1次	H27	II	—	—	—	R2	III	ひび割れ補修	R5	R8予定	R7	III	補修工（設計により決定）	R5	R8予定	37,000
龍宮新橋	(主) 掛上阿井線	1983	17.64	9.7	03雲南	雲南市	1次	H29	II	—	—	—	R4	II	—	—	R9	—	—				
吉田平成大橋	(主) 掛上阿井線	1992	24.4	18.34	03雲南	雲南市	2次	H28	II	—	—	—	R2	II	—	—	R7	II	—	—			
瑞光大橋	(主) 掛上阿井線	1993	40.7	16.62	03雲南	雲南市	2次	H28	I	—	—	—	R1	I	—	—	R6	II	—	—			
無名橋3 8 - 1	(主) 掛上阿井線	1986	3.4	5.9	03雲南	雲南市	2次	H28	I	—	—	—	R1	I	—	—	R6	I	—	—			
芦谷大橋	(主) 掛上阿井線	1954	19.6	4.05	03雲南	雲南市	無	H27	II	—	—	—	R1	I	—	—	R6	I	—	—			
松笠大橋	(主) 湖陵掛合線	1987	17.55	7.35	03雲南	雲南市	2次	H28	I	—	—	—	R2	I	—	—	R7	I	—	—			
立岩橋	(主) 湖陵掛合線	1988	39.95	6.85	03雲南	雲南市	2次	H28	I	—	—	—	R2	I	—	—	R7	I	—	—			
龍頭橋	(主) 湖陵掛合線	1984	23.5	8.2	03雲南	雲南市	2次	H28	I	—	—	—	R2	I	—	—	R7	II	—	—			
大平橋	(主) 湖陵掛合線	1982	28	8.2	03雲南	雲南市	2次	H28	I	—	—	—	R2	I	—	—	R7	II	—	—			
松尾橋	(主) 湖陵掛合線	1996	26.3	9.4	03雲南	雲南市	2次	H28	I	—	—	—	R2	I	—	—	R7	I	—	—			
波多橋	(主) 川本波多線	1970	7	8.2	03雲南	雲南市	2次	H27	II	—	—	—	R2	II	—	—	R7	II	—	—			
宮原橋	(主) 川本波多線	1968	2	7.5	03雲南	雲南市	2次	H29	I	—	—	—	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
戸根橋	(主) 川本波多線	1957	5.85	7.7	03雲南	雲南市	2次	H29	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
瀬戸橋	(主) 川本波多線	1957	3.75	9	03雲南	雲南市	2次	H27	II	—	—	—	R1	II	—	—	R6	II	—	—			
立石橋	(主) 川本波多線	1957	6.5	16	03雲南	雲南市	2次	H27	I	—	—	—	R1	III	断面修復	R5	R5	R6	III	補修工（設計により決定）	R9予定	R10予定	15,000
大井橋	(主) 安来水次線	2001	11.4	11	03雲南	雲南市	無	H29	II	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
上組橋	(主) 安来水次線	1960	3.9	10	03雲南	雲南市	無	H27	I	—	—	—	R1	I	—	—	R6	I	—	—			
糸谷橋	(主) 安来水次線	2001	4.4	10.5	03雲南	雲南市	3次	H30	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
大蔵橋	(主) 安来水次線	1982	3.3	7.78	03雲南	雲南市	無	H30	II	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
巖影橋	(主) 安来水次線	1958	14.2	5.87	03雲南	雲南市	無	H28	I	—	—	—	R3	I	—	—	R8	—	—	—			
天勾岩橋	(主) 安来水次線	1958	7.1	4	03雲南	雲南市	無	H29	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
真野大橋	(主) 安来水次線	1988	34.9	8.28	03雲南	雲南市	無	H29	I	—	—	—	R3	I	—	—	R8	—	—	—			
坂根橋	(主) 安来水次線	1985	10.4	10	03雲南	雲南市	無	H29	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
灰谷橋	(主) 出雲奥出雲線	1995	71	11	03雲南	雲南市	無	H29	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
新鍋山橋	(主) 出雲奥出雲線	1995	52	11	03雲南	雲南市	無	H29	II	—	—	—	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
坂本橋	(主) 出雲奥出雲線	1936	30	5	03雲南	雲南市	無	H27	II	—	—	—	R1	III	架替（改良事業）	架替予定	R6	III	架替（改良事業）	架替予定	架替予定		
梅田屋橋	(主) 出雲奥出雲線	2000	14.5	12.5	03雲南	雲南市	無	H29	II	—	—	—	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
下谷橋	(主) 出雲奥出雲線	1960	10.5	5.25	03雲南	雲南市	無	H28	I	—	—	—	R2	II	—	—	R7	II	—	—			
横貝橋	(主) 出雲奥出雲線	2001	20.6	11.3	03雲南	雲南市	無	H29	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
平田橋	(主) 出雲奥出雲線	1999	61	10.6	03雲南	雲南市	無	H29	I	—	—	—	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
阿井川大橋	(主) 出雲奥出雲線	1999	42.5	10.6	03雲南	雲南市	無	H29	I	—	—	—	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
禪定寺大橋	(主) 出雲奥出雲線	1999	134	11.25	03雲南	雲南市	無	H29	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
雲母橋	(主) 出雲奥出雲線	1997	40	12	03雲南	雲南市	無	H29	II	—	—	—	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
海潮大橋	(主) 大東東出雲線	1977	14.75	8.2	03雲南	雲南市	無	H30	II	—	—	—	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
南大橋	(主) 大東東出雲線	1976	18.59	8.2	03雲南	雲南市	無	H30	II	—	—	—	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
三笠橋	(主) 大東東出雲線	1976	15.65	10.35	03雲南	雲南市	無	H29	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
海潮大橋歩道橋	(主) 大東東出雲線	1976	14.75	2.9	03雲南	雲南市	無	H30	II	—	—	—	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
南大橋歩道橋	(主) 大東東出雲線	1976	18.59	2.4	03雲南	雲南市	無	H30	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
小原橋	(主) 邑南飯南線	1989	32	4.6	03雲南	飯南町	2次	H28	II	—	—	—	R2	II	—	—	R7	II	—	—			
城山大橋	(主) 邑南飯南線	1991	68.75	9.2	03雲南	飯南町	2次	H28	I	—	—	—	R2	I	—	—	R7	I	—	—			
無名橋5 5 - 1	(主) 邑南飯南線	1991	7.6	8	03雲南	飯南町	2次	H28	I	—	—	—	R2	I	—	—	R7	I	—	—			
御崎堂橋	(主) 邑南飯南線	1978	7	7.9	03雲南	飯南町	2次	H30	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
市の原橋	(主) 邑南飯南線	1978	6	7.8	03雲南	飯南町	2次	H30	II	—	—	—	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
才ノ奥橋	(主) 邑南飯南線	1978	3.8	8.55	03雲南	飯南町	2次	H29	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
中通橋	(主) 邑南飯南線	1982	10	6.5	03雲南	飯南町	2次	H27	II	—	—	—	R2	II	—	—	R7	II	—	—			
下王師橋	(主) 邑南飯南線	1982	25	8.2	03雲南	飯南町	2次	H28	I	—	—	—	R2	II	—	—	R7	II	—	—			
千丸橋	(主) 邑南飯南線	1998	27.7	9.2	03雲南	飯南町	2次	H28	II	—	—	—	R2	I	—	—	R7	I	—	—			
観音堂橋	(主) 邑南飯南線	1996	29	9.2	03雲南	飯南町	2次	H28	II	—	—	—	R2	I	—	—	R7	I	—	—			
天狗橋	(一) 木次横田線	1967	7.3	9	03雲南	雲南市	無	H28	I	—	—	—	R3	I	—	—	R8	—	—	—			
屏風橋	(一) 木次横田線	1958	5	8.75	03雲南	雲南市	無	H28	I	—	—	—	R2	I	—	—	R7	II	—	—			
下馬ヶ滝橋	(一) 木次横田線	1971	4.8	6.6	03雲南	雲南市	無	H27	I	—	—	—	R1	II	—	—	R6	III	補修工（設計により決定）	R9予定	R10予定	20,000	
上馬ヶ滝橋	(一) 木次横田線	1956	4	4.75	03雲南	雲南市	無	H27	I	—	—	—	R1	II	—	—	R6	I	—	—			
草枕橋	(一) 出雲大東線	1980	14.6	10.8	03雲南	雲南市	無	H30	III	ひび割れ補修	R4	R6	R4	III	ひび割れ補修	R4	R6	R9	—	—			
幡屋橋	(一) 出雲大東線	1984	53.5	10.5	03雲南	雲南市	無	H30	I	—	—	—	R5	I	—	—	R10	—	—	—			
新岩熊橋	(一) 出雲大東線	1993	32	9.4	03雲南	雲南市	無	H29	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
延明橋	(一) 出雲大東線	1989	70	10.25	03雲南	雲南市	無	H29	II	—	—	—	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
折橋	(一) 美郷飯南線	1980	4.3	8.2	03雲南	飯南町	2次	H30	III	根固め	R4	R4	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
一間屋橋	(一) 掛合大東線	1982	6.7	6.2	03雲南	雲南市	無	H30	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
山根橋	(一) 掛合大東線	1984	9	4.4	03雲南	雲南市	無	H30	I	—	—	—	R5	I	—	—	R10	—	—	—			
川本橋	(一) 掛合大東線	1979	11.05	13.2	03雲南	雲南市	無	H29	III	根固め	R4	R4	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
桜橋	(一) 掛合大東線	1980	6.8	3.8	03雲南	雲南市	無	H30	III	ひび割れ補修	R5	R5	R5	III	ひび割れ補修	R5	R5	R10	—	—			
師弟大橋	(一) 掛合大東線	1980	14.54	6	03雲南	雲南市	無	H29	I	—	—	—	R4	I	—	—	R9	—	—	—			
無名橋1 7 6 - 1	(一) 掛合大東線	1982	5.1	7.6	03雲南	雲南市	無	H30	II	—	—	—	R5	II	—	—	R10	—	—	—			
明賀谷橋	(一) 掛合大東線	1982	27.3	8	03雲南	雲南市	無	H29	II	—	—	—	R4	II	—	—	R9	—	—	—			
鍋山橋	(一) 三刀屋佐田線	1963	43.8	6.8	03雲南	雲南市	無	H28	III	支													

Table with columns: 道路橋名, 路線名, 架設年次, 橋長 (m), 幅員 (m), 事務所, 市区町村名, 緊急輸送道路, H26-H30 1 巡目, R1-R5 2 巡目, R6-R10 3 巡目, 概算修繕費用. The table lists various bridges and their inspection and maintenance plans, including details on road types, bridge status, and estimated costs.

Table with columns: 道路橋名, 路線名, 架設年次, 橋長, 幅員, 事務所, 市区町村名, 緊急輸送道路, H26-H30 1 巡目点検結果, R1-R5 2 巡目点検結果, R6-R10 3 巡目点検結果, 概算修繕費用. The table lists various bridges and their inspection and maintenance schedules.

道路橋名	路線名	架設年次 (西暦4桁)	橋長 (m)	幅員 (m)	事務所	市区町村名	緊急輸送道路 ・1次 ・2次 ・3次 ・無	H26-H30 1 巡目 点検結果			R1-R5 2 巡目 点検結果			R6-R10 3 巡目 点検計画 点検結果			概算修繕費用(計画期間内) (千円)						
								点検 年度	健全 性	対策 内容	着手 年度	完了 年度	点検 年度	健全 性	対策 内容	着手 年度		完了 年度	点検 年度	健全 性	対策 内容	着手 年度	完了 年度
萩原橋	(主) 仁厚邑南線	2019	13.2	8.2	06県央	邑南町	無								R7	I	—						
無名橋下田所2	(国) 2 6 1号	1900	13		06県央	邑南町	1次		その他				R3	I	—								
明神橋	(主) 甲田作木線	2021	22.3	8.2	06県央	邑南町	2次		新設				R5	I	—								
高見橋	(主) 浜田作木線	2022		8.2	06県央	邑南町	無								R7	I	—						
新宅橋	(主) 田所国府線	2015	20	8.3	06県央	邑南町	無	H29	II				R4	I	—								
出合橋	(主) 浜田作木線	2021	5.4	8	06県央	邑南町	無		新設				R5	I	—								
無名橋細平1	(主) 仁厚邑南線	2017	2.3	6.8	06県央	川本町	無		新設					その他									
狭部大橋	(一) 三次江津線	1994			06県央	邑南町								その他									
くもい滝橋	(一) 三次江津線	1997			06県央	邑南町								その他									
薬師堂橋	(主) 邑南飯南線	1994			06県央	美郷町	3次																
中野原橋	(国) 2 6 1号	1967	10.4	8.3	06県央	邑南町	1次	H27	II				R1	I	—								
上田所橋	(国) 2 6 1号	1966	27.55	7.7	06県央	邑南町	1次	H28	I				R3	II	—								
大原橋	(国) 2 6 1号	1966	22.1	7.75	06県央	邑南町	1次	H27	II				R1	II	—								
松原橋	(国) 2 6 1号	1966	27.2	8.15	06県央	邑南町	1次	H28	I				R3	II	—								
小河内橋	(国) 2 6 1号	1968	24.6	11	06県央	邑南町	1次	H27	II				R1	II	—								
田所大橋	(国) 2 6 1号	1969	39	12.2	06県央	邑南町	1次	H28	I				R3	I	—								
無名橋下田所	(国) 2 6 1号	1980	3.7	11.2	06県央	邑南町	1次	H28	II				R3	II	—								
白谷上橋	(国) 2 6 1号	1962	15.1	7.6	06県央	邑南町	1次	H26	II				R1	II	—				R9予定	R11予定	34,000		
白谷中橋	(国) 2 6 1号	1959	7.6	8.5	06県央	邑南町	1次	H26	I				R1	I	—								
白谷橋	(国) 2 6 1号	1963	17	7.45	06県央	邑南町	1次	H26	I				R1	I	—						36,000		
日向橋	(国) 2 6 1号	1986	18.5	7.7	06県央	邑南町	1次	H27	I				R1	I	—								
第2日向橋	(国) 2 6 1号	1956	2	10.95	06県央	邑南町	1次	H27	II				R2	II	—								
天蔵寺橋	(国) 2 6 1号	1979	36.4	14.5	06県央	邑南町	1次	H27	II				R1	II	—						116,000		
宮野原橋	(国) 2 6 1号	1978	31.8	10.55	06県央	邑南町	1次	H27	I				R1	I	—								
イノヤマ橋	(国) 2 6 1号	1983	3.1	10	06県央	邑南町	1次	H28	I				R3	I	—								
賀安橋	(国) 2 6 1号	1984	6	8.8	06県央	邑南町	1次	H28	I				R3	II	—								
渡橋	(国) 2 6 1号	1974	40	10.74	06県央	川本町	1次	H27	I				R1	I	—								
新狹谷橋	(国) 2 6 1号	1977	90	9.3	06県央	川本町	1次	H27	II				R1	II	—						178,000		
第二松瀬橋	(国) 2 6 1号	1980	62.3	10.5	06県央	川本町	1次	H27	I				R2	II	—								
第一松瀬橋	(国) 2 6 1号	1980	110.23	10.5	06県央	川本町	1次	H28	II				R3	I	—								
無名橋因原1	(国) 2 6 1号	1982	6.4	11.6	06県央	川本町	1次	H28	I				R3	I	—								
無名橋因原2	(国) 2 6 1号	1982	6.4	11.6	06県央	川本町	1次	H28	I				R3	I	—								
川下橋	(国) 2 6 1号	1989	213	10.75	06県央	川本町	1次	H30	II				R5	II	—								
木谷橋	(国) 2 6 1号	1990	40.5	11	06県央	川本町	1次	H27	I				R2	I	—								
無名橋川下1	(国) 2 6 1号	1982	3.1	9.4	06県央	川本町	2次	H28	I				R3	I	—								
無名橋川下2	(国) 2 6 1号	1982	3	9.85	06県央	川本町	1次	H28	I				R3	I	—								
無名橋川下3	(国) 2 6 1号	1982	5.4	12.55	06県央	川本町	1次	H28	I				R3	I	—								
無名橋川下4	(国) 2 6 1号	1982	3.6	9.8	06県央	川本町	1次	H27	I				R2	I	—								
無名橋川下5	(国) 2 6 1号	1982	3.8	11	06県央	川本町	1次	H27	I				R2	I	—								
松屋橋	(国) 2 6 1号	1982	5.9	10	06県央	川本町	1次	H28	I				R3	I	—								
無名橋川下6	(国) 2 6 1号	1982	2.6	9.75	06県央	川本町	1次	H27	I				R2	I	—								
飯谷橋	(国) 3 7 5号	1995	16.1	12	06県央	美郷町	1次	H27	I				R2	I	—								
新都橋	(国) 3 7 5号	1980	47.2	12.75	06県央	美郷町	1次	H27	II				R1	II	—								
小警谷橋	(国) 3 7 5号	1961	8.45	11.8	06県央	美郷町	1次	H26	I				R1	I	—								
二多合谷橋	(国) 3 7 5号	1980	9.6	11.5	06県央	美郷町	1次	H30	I				R5	I	—								
新潮橋	(国) 3 7 5号	1975	14.85	7.5	06県央	美郷町	1次	H30	I				R5	I	—								
今山橋	(国) 3 7 5号	1973	13.5	8.05	06県央	美郷町	1次	H27	I				R2	I	—								
潮橋	(国) 3 7 5号	1959	4.7	8.3	06県央	美郷町	1次	H27	I				R2	I	—								
三日谷橋	(国) 3 7 5号	1988	39.804	10.2	06県央	美郷町	1次	H30	II				R5	II	—								
丸郡橋	(国) 3 7 5号	1983	38.5	12.99	06県央	美郷町	1次	H27	II				R1	II	—								
果瀬橋	(国) 3 7 5号	1927	9	6.9	06県央	美郷町	1次	H27	I				R2	I	—								
土居橋	(国) 3 7 5号	1999	43	12	06県央	美郷町	1次	H29	I				R4	II	—								
南谷橋	(国) 3 7 5号	1998	33	12	06県央	美郷町	1次	H27	I				R2	I	—								
釜谷橋	(主) 甲田作木線	1994	13.5	8	06県央	邑南町	2次	H28	I				R3	I	—								
琵琶甲橋	(主) 甲田作木線	1987	56.5	6.25	06県央	邑南町	2次	H30	I				R5	II	—								
口羽跨線橋	(主) 甲田作木線	1963	9.05	8.8	06県央	邑南町	2次	H27	I				R2	I	—								
口羽大橋	(主) 甲田作木線	1987	48.42	11	06県央	邑南町	2次	H28	II				R3	II	—								
両国橋	(主) 甲田作木線	1974	150	8.9	06県央	邑南町	2次	H26	II				R1	II	—								
口羽歩道橋	(主) 甲田作木線	1988	19.9	2.6	06県央	邑南町	無	H27	I				R2	I	—								
大前新橋	(主) 浜田八重町部線	1989	30.9	9.2	06県央	邑南町	2次	H28	I				R3	I	—								
明神橋	(主) 浜田八重町部線	1991	31	11	06県央	邑南町	2次	H28	I				R3	I	—								
三坂橋	(主) 浜田八重町部線	1934	3.1	6.5	06県央	邑南町	無	H26	I				R1	I	—								
丸瀬橋(歩道橋)	(主) 浜田八重町部線	1993	18.5	2.9	06県央	邑南町	無	H30	I				R5	I	—								
永久橋	(主) 吉田邑南線	1991	20.3	6.85	06県央	邑南町	無	H28	I				R3	II	—								
三ッ橋	(主) 吉田邑南線	1985	5.351	9.7	06県央	邑南町	無	H27	II				R2	III	防錆処理、断面修復	R3	R6						
黒坊橋	(主) 吉田邑南線	1974	8.4	7.5	06県央	邑南町	無	H26	I				R1	I	—								
新出羽橋	(主) 吉田邑南線	1982	4.745	6.85	06県央	邑南町	2次	H27	I				R2	I	—								
高善寺橋	(主) 吉田邑南線	1982	30.88	6.85	06県央	邑南町	2次	H28	I				R3	I	—								
新出羽橋歩道橋	(主) 吉田邑南線	2000	5.4	2.25	06県央	邑南町	無	H29	I				R4	I	—								
横出橋	(主) 浜田作木線	1956	5.5	7.8	06県央	邑南町	無	H26	II				R1	II	—								
潜岩橋	(主) 浜田作木線	1958	2.7	5.7	06県央	邑南町	無	H29	I				R4	I	—								
岩木原橋	(主) 浜田作木線	1935	5.7	7.4	06県央	邑南町	無	H26	I				R2	I	—								
鳴滝橋	(主) 浜田作木線	1984	37.636	9.2	06県央	邑南町	無	H27	I				R2	II	—								
出合上橋	(主) 浜田作木線	1986	17.64	9.2	06県央	邑南町	無	H27	I				R2	I	—								
萩原橋1	(主) 浜田作木線	1958	6	6	06県央	邑南町	無	H27	II				R2	II	—								
森脇谷橋	(主) 浜田作木線	1987	18.861	11	06県央	邑南町	2次	H27	I				R2	I	—								

道路橋名	路線名	架設年次 (西暦4桁)	橋長 (m)	幅員 (m)	事務所	市区町村名	緊急輸送道路 ・1次 ・2次 ・3次 ・無	H26-H30 1 巡目 点検結果					R1-R5 2 巡目 点検結果					R6-R10 3 巡目 点検計画 点検結果					概算修繕費用(計画期間内) (千円)	
								点検 年度	健全 性	対策 内容	着手 年度	完了 年度	点検 年度	健全 性	対策 内容	着手 年度	完了 年度	点検 年度	健全 性	対策 内容	着手 年度	完了 年度		
馬淵横断歩道橋	(一) 馬淵港線	1992	16.9	2.0	01松江	松江市	無	H27	III	再塗装	R2	R2	R1	III	再塗装	R2	R2	R6	I					
比津横断歩道橋	(主) 松江鹿島美保岡線	1993	50.2	2.1	01松江	松江市	無	H27	II	当て板補修、再塗装			R1	III	当て板補修、再塗装	R3	R5	R6	II					
雑賀横断歩道橋	(国) 4 3 2 号	1995	16.3	1.5	01松江	松江市	無	H27	I	-			R2	I	-			R7	III	当板補修、塗装等、P1)変更	R9	R11	20,000	
内中原横断歩道橋	(一) 松江しんじ湖温泉停車場線	1977	14.9	1.5	01松江	松江市	無	H27	II	当て板補修、再塗装			R1	III	当て板補修、再塗装	R3	R6	R6	I					
泉谷横断歩道橋	(主) 松江木次線	2008	23.0	2.0	03雲南	雲南市	無	H27	I	-			R2	I	-			R7	I					
横断歩道橋 1	(一) 斐川出雲大社線	1982	14.0	1.9	05出雲	出雲市	無	H28	I	-			R2	II	-			R7	II					
横断歩道橋 2	(一) 斐川出雲大社線	1982	10.5	1.9	05出雲	出雲市	無	H28	I	-			R5	III	補修工 (設計により決定)	R7	R10予定	R10						25,000
大津歩道橋	(国) 1 8 4 号	1966	21.0	2.0	05出雲	出雲市	無	H29	II	-			R4	II	-			R9						
今市横断歩道橋	(国) 1 8 4 号	1995	23.8	3.5	05出雲	出雲市	無	H29	II	-			R4	II	-			R9						
瑞穂小学校前横断歩道橋	(国) 2 6 1 号	1969	14.0	1.5	06県央	邑南町	無	H28	I	再塗装			R3	II	再塗装			R8						
吉田横断歩道橋	(主) 益田停車場線	1970	47.5	1.9	09益田	益田市	無	H27	II	-			R2	II	再塗装			R7	II					